

# みっつの“わ”

R.5. 11月号

No.7

河内長野市立長野小学校  
支援人権部発行

11月とは思えないほどの暖かい日があると思えば、急にコートが手放せないほどの寒い日になったりと、体調管理がとても難しいですね。毎朝天気予報を見て、天候だけでなく気温もチェックして、着る服の調整をしっかりとしたいものです。手洗いうがいも忘れず、これからやってくる寒い冬に負けない健康な体をつくっていきましょう。



## 子どものけんかは、善それとも悪？

『和をもって貴しとなす』という言葉があるように、けんかというとはじめから絶対悪と決めつけて、やってはいけないものだという社会通念を持っています。そのため、子どもの世界にもこの考えを持ち込み、けんかをしている子どもを見ると、「けんかはやめなさい」「仲良くしなさい」と叱って、仲裁に入ることが多いのです。しかし、実は、子どもの心理的な発達の上でけんかは大きな意味を持つものであり、その貴重なチャンスを奪うのは、おおいに考え

ものです。というのも、子どもはけんかをしながら、それぞれの年齢に応じた解決策を見つけようとしているからです。つまり、子どもなりに頭を使いながら妥協点を見いだすことによって、それなりの社会性・協調性を身につけていくというわけです。それを大人が途中で止めてしまえば、子どもが将来、円滑な人間関係をもつことを妨げることにもなりかねません。けんかは、自分の要求がすべて通るのではな



ただ、止めるだけなら…



円滑な人間関係をもつことを妨げてしまう

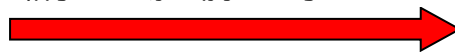
く、利害が相反する相手もいるのだということを見出す絶好のチャンスでもあります。

最近、子ども同士のけんかが少なくなる反面、子どものけんかが殺人事件に、あるいは、子どもの暴力行為が凶悪犯罪にまで発展したというニュースが世間を騒がせることもしばしばです。これらの事件は、子どもの社会性の欠如が原因であり、子ども同士のけんかが少なくなったことと無関係ではないと考えられます。

もし、「そんなことを言っても、けんかを放っておいたら…」と不安になるなら、“行司”か“観客”の立場で、危険のないよう様子を見ながら、子どものけんかを観戦することです。子どもが自分自身の力で、困難な状態を切り抜ける体験をしてこそ、子どもの自立心を育てることになるのです。

自立心

解決策を見つけようとする  
妥協点を見い出そうとする  
相手の立場・気持ちを考える



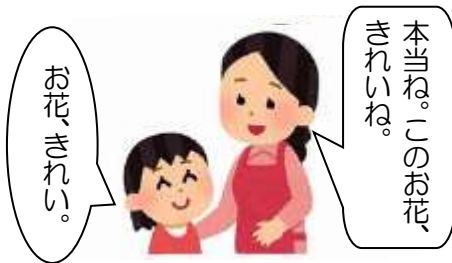
社会性

協調性



# “表現力”を身につけるには・・・

子どもの言語表現力は、どのようにすれば身につくのでしょうか。まず、言葉を知らなければ話すことはできません。言葉の習得は、耳からが一番身近です。テレビ、ビデオ、ユーチューブなど目にしながら言葉を習得していくことも多いと思いますが、日常の会話の中で豊かな語彙を増やしていくことは、自分の思ったことを表現していくことにつながっていきやすいです。



たとえば、子どもが、道ばたに咲く花を見て、「お花きれい。」と言ったとします。「このお花きれいね。」と言った言葉をリピートするだけでも、“この”という指示語の表現を身につけていくことができます。さらに「このお花、ピンクと白が混じっていてきれいね。」と、具体的にきれいと思うところを表現していくと、今、目にしている花がどんな風にきれいなのか表現を身につ

けられます。子どもが小さいうちは語彙を増やしていくのに、大人がかわりに表現していくことはいいと思いますが、大きくなるにつれて、「どこが、きれいだと思うの？」と、質問することで、子どもなりに自分が思ったことを表現しようとしてします。それを聞いて、「お母さんもそう思うわ。」「お母さんは、〇〇なところがきれいだと思うわ。」などと返事すると、コミュニケーション力や自分と相手は思っていることが違うという他者理解力も学ぶことができます。



## 子どもの言葉をうばわない

病院などに行って、医者は子どもに対して話しかけているのに、側にいる大人がそれに答えてしまっていることがあります。もちろん子どもが話せないような状態ならよいのですが、先々に子どもが話すチャンスを奪って代弁してしまうと、子どもは、自分で話さなくてもいい



と思ったり、自分の意志が尊重されず、常に親の意に従わないといけなかったりしてしまいます。子どもが上手く表現できずもどかしく思っても、自分の意志が相手に伝わるまで忍耐強く待つことが大切です。それが、子どもの表現力を育てていくこととなります。

NG 対応 代弁してしまう

GOOD 対応 見守る

子どもの言いたいことを先回りして言ってしまうと、自分の意志を他人に伝えられる自主性まで摘み取ってしまい、何事にも積極的に取り組もうとしない無気力な人間に育ってしまうので気をつけたいものです。